

## 第6学年○組 外国語活動学習指導案

### 1 単元名・教材名 “Hi, friends!2” Lesson5 「Let's go to Italy.」

#### 2 単元について

##### (1) 児童観

<省略>

##### (2) 教材観

6年生では総合的な学習の時間や社会科などの学習を通して、世界の国々の様子を学習する機会も増える。そのため、各国の特徴を考えたり自分の行ってみたい国を紹介したりする活動に意欲的に取り組むことができ、各国について興味・関心を深めることのできる題材であると考えた。

本単元は、小学校外国語学習指導要領の「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」の内容を受けて、相手に行きたい国を伝えたり、相手の話を聞いたりして、英語を使って友達とコミュニケーションを図る楽しさを体験できるものである。そして「英語の特徴やきまりに関する事項」についても、それぞれの時間の基本表現に合わせて様々なチャンツを用いながら、英語の語や句、文における基本的な強勢やイントネーションに慣れ親しむことができる。また、世界の国々の国旗や有名な物を知り、文化に対する理解を深めることもできる単元である。

##### (3) 指導観

単元の導入では、世界の国々の有名なものや、食べもの、見たりすることができるものを知らせることで、色々な人々が世界で生活していることに気付かせて興味をもたせる。その後徐々に、“Where do you want to go?” “I want to go to ~.”等の表現を使って楽しみながら聞くこと・話すことに慣れさせていき、その活動を通じて、自分ならどこに行きたいか、友達はどんな国に興味があるのだろうかという関心を高めていく。単元のまとめでは、目的に応じて情報や意見を発信することができるように、まずは担当になった国のおすすめポイントをグループでPRし合い、その発表後に自分の行きたい国を聞き合っただけでなくクラスで人気の国ランキングを調査するというコミュニケーションの場を設定する。また、世界の旅行者数国際ランキングを発表し、外国人から見た日本の魅力についても伝えることで、自分たちの住む日本の生活に対する興味関心が高まることも期待する。

#### 3 単元目標

- ・行きたい国や場所について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりする。
- ・国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりする表現が分かる。また、それらを書き写す。
- ・行きたい国について理由も含めて伝え合う。
- ・いろいろな国の言い方や、アクセントなどの特徴に気づく。

#### 4 単元の評価規準

- (1) 自分の思いが友だちに伝わるように工夫しておすすめの国について発表したり聞いたりしている。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) 行きたい国について、理由も含めて友達と尋ねたり答えたりしている。また、それを書き写している。  
【外国語への慣れ親しみ】
- (3) 国の名前や有名な場所の表現の特徴に気付いている。また、世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。【言語や文化に対する気付き】

5 学習指導計画

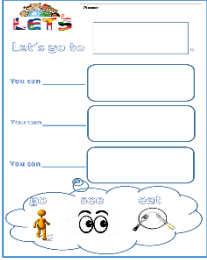
時	目標と主な活動	評価の重点			使用表現	
		コ	慣	気	表現	語彙
1	世界の国の名前や有名な場所の表現の特徴を知り、世界の人々が様々な生活をしていることに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Let's Play: 国の名前や国旗について知る。</li> <li>Let's Chant: Let's go to Italy①を言う。</li> <li>Let's Listen: 聞いてわかったことを話し合う。</li> <li>振り返りをする。</li> </ul>			○	Hello. Good morning /afternoon How are you? I'm ~.	国名 ; Japan America India Italy France Egypt
2	行きたい国を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Let's Chant: Where do you want to go?を言う。 (We can 1 より)</li> <li>Let's Play: 国旗当てクイズをする。</li> <li>Let's Play: 国旗カルタ取りゲームをする。</li> <li>Let's Listen: どの国の世界遺産かを考える。</li> <li>友だちに紹介する国を決め、情報を集めておく。</li> <li>振り返りをする。(総合学習の時間も活用)</li> </ul>			○	Where do you want to go? I want to go to ~. Let's go to Italy. I can ~. You can ~. We can ~. That's ~. Why?	Brazil China Australia Greece Spain Russia UK Canada Korea
3	おすすめの国を紹介する表現に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Let's Chant: Let's go to Italy②③を言う。</li> <li>Let's Play: 国当てゲームをする。</li> <li>Activity: おすすめの国を紹介するポスター作りして、そのカードを使った紹介の仕方に慣れる。</li> <li>振り返りをする。(総合学習の時間も活用)</li> </ul>			○	I like ~. I want to eat/see/play/enjoy ~.  Good bye. See you.	Switzerland 動作 ; eat see enjoy go play
④ 本時	友だちとおすすめの国を積極的に交流し、6年1組での人気旅行先ランキングを作る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Let's Chant: Let's go to Italy③ Where do you want to go?を言う。</li> <li>紹介を聞いて、行きたいと思った国を交流する。</li> <li>振り返りをする。</li> </ul>			○	Thank you.	

6 本時の学習指導

(1) 目標 様々な国の紹介をし合ったり、行ってみたい国を伝え合ったりして、友達と英語を使って意欲的にコミュニケーションを楽しむ。

(2) 展開 (4/4時)

時	児童の活動	HRT の活動	ALT の活動	◇指導上の留意点 ●準備 ◎評価の視点 【観点】〈方法〉
5分	○Greetings <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> <li>日時や天気を確認する。</li> </ul> ・Today's topic ○本時の活動のめあてを知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と挨拶をする。</li> </ul> Hello. How are you? I'm good/O.K./hungry/sleepy. <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の表現でALTとやりとりをし、児童も巻き込みながら、small talkをする。(冬休みの予定)</li> <li>児童の返答に対して Good や Nice など反応する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の活動の流れを伝える。</li> <li>今日の授業のめあてを知らせる。</li> </ul>		◇児童に本時の活動の見通しをもたせる。  ◇単元の終末の活動を再度確認し、Activity1 の発表が Activity2 のやりとりにつながることを児童に意識させる。
<p><b>Let's go to Italy!</b>                      自分の行きたい国とその理由を伝え合い、「6年○組 行ってみたい国ランキング」を調査しよう。</p>				

5分	<p>○Warm up</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャンツを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT と HRT は二手に分かれ、ALT はチャンツの発音を正しい発音で聞かせ、HRT は児童が自信を持ってチャンツを言うように、タイミングをサポートする。</li> </ul>	<p>◇世界の国々を意識した本時の取組に、興味を持って活動できるような雰囲気づくりをする。</p>
5分	<p>○Let's Chant: "Let's go to Italy ③"を言う。</p>	<p>(チャンツ)</p> <p>A: Let's go to Italy. You can eat pizza. You can eat cheese. You can see soccer games.</p> <p>B: Nice country. Let's go!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスを半分にし、HRT と ALT で A B に分かれて児童と一緒にチャンツを言う。</li> </ul>	<p>●Hi, friends!2 デジタル教材</p> <p>◇速さを変えたり、これまで出てきた国に入れ替えたりして、チャンツの表現を繰り返し言わせる。</p> <p>◇You can go to ~. You can eat ~. You can see ~.の表現を入れ替えて、どの表現にも慣れ親しめるように指導する。</p>
12分	<p>○Activity 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスみんなに行きたいと思ってもらうように、担当の国を紹介し合う。</li> </ul>  <div data-bbox="161 1317 456 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発表のポイント</p> <p>① Eye contact &amp; Smile</p> <p>② Clear voice &amp; Good rhythm♪</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に発表の仕方を最終確認する。</li> <li>・プレゼンテーションをする。</li> <li>・HRT と ALT で例としてそれぞれの国の紹介をする。</li> </ul> <div data-bbox="523 882 959 1171" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Hello. I'm ~. I'm~.I'm~.</p> <p>Japan is wonderful.</p> <p>You can eat Sushi.</p> <p>You can see Mt. Fuji.</p> <p>You can see Kinkaku-ji.</p> <p>Nice country!</p> <p>Thank you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT は各グループの発表に対して I want to see Mt. Fuji. I like Sushi. など、Activity2 につながるようなコメントをする。</li> </ul> <div data-bbox="847 1346 995 1384" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>評価場面</p> </div> <div data-bbox="491 1384 1378 1671" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎自分の思いが友だちに伝わるように工夫して、各国のおすすめについて発表している。</p> <p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】〈行動観察、発表〉(評価の区別)</p> <p>A 評価：伝えたいことが伝わるように、聞き手を意識しながら、身振り手振りも交えて聞き取りやすい声で発表している。</p> <p>B 評価：発表相手の方を見て、聞き取りやすい声で発表している。</p> <p>C 評価：下を向き、不明瞭な声で発表している。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が行きたい国をシートに書き込んでいる際、HRT は書き忘れがないように声をかけて回る。</li> <li>・困っている児童には、Do you like~?などと聞きながら考えを引き出すサポートをする。</li> </ul>	<p>●担当の国紹介スライド</p> <p>◇本時までに作成させる。</p> <p>◇グループ毎に紹介させる。(フィリピン、ケニア、アメリカ、フランス、中国、スペイン、イタリア)</p> <p>◇簡単な手順を掲示しておく。</p> <p>◇必ずおすすめの理由を言わせる。</p> <p>◇友だちが紹介した国の中でどの国に行きたいかを選ばせる。</p>

13分	<p>○Activity 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インタビューをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インタビューのやり方をデモンストレーションする。</li> <li>コミュニケーションで大事なポイントを伝える。</li> </ul> <div data-bbox="478 280 963 358" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>コミュニケーションのポイント ① Eye contact (・・) &amp; Smile☺ ② Clear voice &amp; Good rhythm♪</p> </div>	<p>●リサーチシート (3色)</p> <p>◇「行きたい国を尋ね、相手のことを知る」という目的のあるコミュニケーションゲームを行わせる。</p>
<p>例) Hello. Hello. Where do you want to go? I want to go to Italy. That's nice! Where do you want to go? I want to go to Thailand. I like elephants. That's great. Thank you. Thank you.</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>互いの声が小さかったり聞き取りにくかったりした場合には、<b>One more time, please.</b> と言ったり、<b>Clear voice, please.</b> と言ったりして、もう一度尋ねてもよいことを伝える。</li> <li>返事の仕方に自信がない児童には、国名のみで答えてもよいことを伝える。</li> </ul>	<p>◇調査結果確認をグループごとにするので、必ず目標人数の友達にインタビューする必要性を持たせる。また、同色のシート同士でインタビューさせることでいろいろな相手と交流することができるようにする。</p>
<div data-bbox="783 658 938 703" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価場面</div> <p>◎行きたい国の名前やその理由を簡単な英語でやりとりしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】〈行動観察、やりとり、リサーチシート〉</p> <p>〔具体的手だて〕 Aの児童：相手の言ったことを確認の意味で繰り返したり、ジェスチャーをつけて表現したり、行きたい理由を言ったりするように助言する。 Bの児童：コミュニケーションのポイントをより意識して会話ができるよう助言する。 Cの児童：一緒に相手を見つけ、表現の仕方を教える。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果を基にグループ毎に結果を集計する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループの調査結果集計後、クラス全体で確認をする。</li> <li>それぞれの国に行きたい理由も尋ねる時間を持つ。</li> <li>クラスランキングのあと、世界の旅行者ランキングを公表する。</li> <li>世界旅行者数や日本のランクについてのALTの話から、外国人が感じる日本の魅力にも気付き、興味を持って聞けるように支援する。</li> </ul>	<p>●世界の旅行者数国際ランキング</p> <p>◇世界ランキングを見ながら、世界の様々な人々の思いがあることに気付く。【気付き】</p>
5分	<p>○Review</p> <p>○Greetings</p> <p>挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてに沿った紹介をし合えたか、振り返りカードに書かせる。</li> <li>児童の活動を具体的に話す。</li> <li>挨拶をする。Thank you. See you.</li> </ul>	<p>●振り返りカード</p> <p>◇本時のめあてにあった振り返りができるようにする。</p> <p>◇場面を挙げて具体的に称賛する。</p>

(3) 板書計画

Let's go to Italy!  
自分の行きたい国とその理由を伝え合い、「6年〇組行ってみたい国ランキング」を調査しよう。



LET'S

Let's go to \_\_\_\_\_.

You can \_\_\_\_\_.

You can \_\_\_\_\_.

You can \_\_\_\_\_.



Where do you want to go?  
I want to go to ~.

1 ○○○○

2 ○○○○

3 ○○○○

4 ○○○○

5 ○○○○